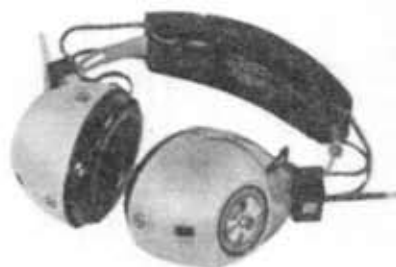


新製品紹介

ナショナル パナソニック

ヘッドホンタイプ FM ステレオラジオ ミュージカル IC RF-60

ヘッドホンに IC を使って小形にし、FM ステレオラジオを組込んだ世界で初めてのユニークな FM ステレオラジオである。ヘッドホン単体で FM ステレオ放送が楽しみ、またステレオチューナとしてアンプに接続することもできる。手軽に FM ステレオ放送が楽しめるので、これからの需要が期待できる商品である。



☆特 徴☆

- 1) ヘッドホンスタイルのユニークなデザイン。
- 2) ヘッドホン単体で FM ステレオ放送が楽しめる。
- 3) ステレオ、モノラル放送は自動切替え回路となっている。
- 4) IFAMP, MPX, AF AMP に IC を採用。
- 5) 好みの音質を選べる2ステップリレースイッチの採用。
- 6) 簡単に適当な音量が選べるステップボリュームの採用。
- 7) 左右の音量を調節するバランスの採用。
- 8) FM 放送を安定に受信する AFC 回路の内蔵。
- 9) FM ステレオチューナとしても使用できる。

☆定 格☆

- 受信周波数 76~90MHz
- 中間周波数 10.7MHz
- トランススタ 3石
- IC 5個
- ダイオード 12個
- アンテナ 7段 29cm コイルアップアンテナ 2本
- 出力 5+5mW
- 電圧 4.5V UM-3x3
- 重量 820g 電池付
- 寸法 (幅)310×(高)224×(奥)88(mm)

☆現金正価☆ 19,800円

ハイファイ総合アンプファイア

SA-54

本機はハイファイマニアを十分満足させる高性能の組合アンプファイアである。

すでに発売した SA-53 のデラックス形として、出力アップ、各種機能の追加を行なっている。



☆特 徴☆

- 1) 特にシリコン・PNP 形の低雑音トランジスタ 2SA550 を多用し、従来のアンプに比べ非常に雑音が少ない。
- 2) 周波数特性・ひずみ率特性を悪化させる恐れのある IPT・OPT を使用しない準コンプリメントリ回路の採用により特性が非常に良くなっている。
- 3) プリアンプ出力・メインアンプ入力端子を設けてあるので、マルチチャンネル方式に簡単に利用できる。
- 4) FM フロントエンドには FM の本放送に加え、PET 2個と 4 連バリコンを使用した高周波二段増幅を採用し、高感度を有しているばかりでなく強電界においても妨害や混信の恐れがない。
- 5) FMIF は五段増幅、二段直結リミックを使用し、外部雑音や妨害信号に対し優れた特性を示す。
- 6) FM マルチ回路のモノ/ステレオ自動切替え回路に PCM サイリックファイナキを使用し、ノイズによる誤動作を防いでいる。
- 7) AM はフォワード AGC 付高周波増幅、3 連バリコン、フェドバック内蔵の構成で、高感度、高選択度を得ている。
- 8) AM・IF 段にセラミックファイナキを使用、広帯域、高選択度を安定に得られる。

☆定 格☆

- 出力 (HF) 90W (4Ω), 80W (8Ω)
- 高調波ひずみ 0.5% (定格出力)
- パワーバンド幅 15~70,000Hz (定格出力に対し-3dB)
- 周波数特性 90~50,000Hz (±3dB) (最低音圧トフォクター)
- S/N PHONO 85dB
- 感度 (HF) FM 1.8μV, AM 20μV
- イメー比 FM 80dB, AM 70dB

●付属機能の主なもの

コピー・切替えスイッチ (A, B 2系別コピーを A, B, A+B, OFF と切替える)、ハイフィード/ローフィード、FM ミューテイング、ラウドネス、テープモニタ

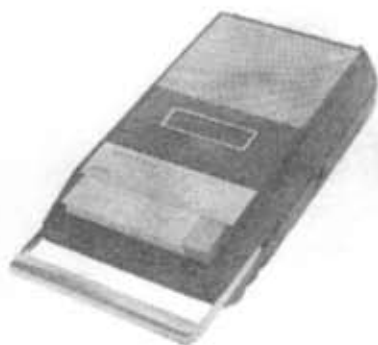
●寸法 (幅)50×(高)12.9×(奥)35.7(cm)

☆現金正価☆ 80,800円

カセットテープレコーダ

カセットTIME RQ-209

RQ-209 はカセットの特長を最大限に取り入れた携帯に便利、操作の簡単なプッシュボタン方式のカセットテープレコーダです。



☆特微☆

- 1) テープの取付けはパチッとセットするだけで OK。テープを切ったり、いためたりすることがありません。カセットアップボタンを押すだけでふたが開き、カセットがポンと飛び出しテープの交換は簡単です。
- 2) 2電源方式なので電池でも電灯線でも使える。
- 3) 自動録音調整方式より録音時、録音レベルの調整は自動的に行われ、簡単にしかも失敗のない録音ができます。

☆定格☆

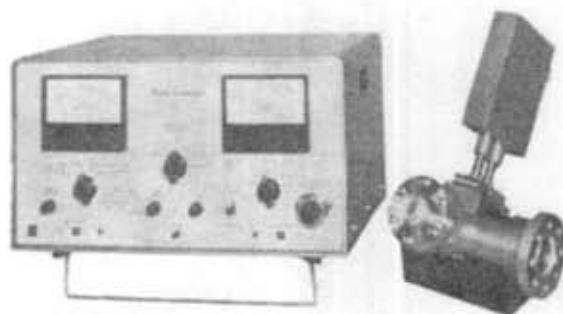
- 電 源 交流100V (50-60Hz)
直流6V (単2形乾電池4個)
- 出 力 750mW (最大1W)
- 使用トランス 2SB173C (1), 2SB175B (3),
2SB324 (2), 2SB173A (1)
- 使用ダイオード 0A81 (1), 0A90 (1)
- 録音バイアス方式 交流バイアス方式 45kHz
- トラック方式 2トラック、1チャンネル、モノステレオ
- テープ速度 4.8cm/秒
- 使用テープ フォリックス型カセットテープ
- 可変周波数特性 80-8000Hz
- 入力インピーダンス MIC端子 4.7kΩ (マイクコネクター)
インピーダンス 200Ω
- 出力インピーダンス MONITOR 8Ω
- 録音時間 C-60使用 往復1時間
- 電池寿命 約10時間(ナショナルハイトップ使用)
- 使用スピーカー 90mm丸形PMダイナミック型
- 寸 法 (高)70×(幅)138×(奥)259(mm)
- 重 量 約1.5kg

☆現金正価☆ 16,800円

真 空 分 析 計

MA-3

真空蒸着、真空管工業など真空を利用する生産ならびに研究において、真空中に残存する気体の組成を知る必要が技術の高度化とともにますます増大している。そのような需要の動きに応じて磁界偏向型の真空分析計を開発した。



☆特 徴☆

- 1) スリット系を用いない特殊なイオン源を開発し、さらに収差の少ない円形磁場を用いた非対称配置によりイオンの利用効率が従来のものより数10倍高く、検知限界は二次電子増倍器なしで 10^{-11} Torr である。
- 2) 磁界偏向型質量分析計の特徴を生かし、分析精度が高く動作が安定である。
- 3) 質量範囲を任意に選べるくり返し掃引回路、スケールアウトピークを再測定するに便利な再掃引回路。
- 4) 取扱いに便利なコンパクトな電圧制御部。
- 5) 全金属製の分析計、ガスケットの使用により高温での搬出しが可能である。

☆定 格☆

- 方 式 90°非対称円形磁場
- 分 解 能 70 (10%値)、130 (50%値)
- 質 量 範 圍 2-12, 12-200, ダブルコレクタ
- イオン感度 3/Torr (N_2 $m/e=28$ の値)
- 検 知 限 界 1×10^{-11} Torr
- 掃 引 方 式 電場掃引、リニアスケール
再掃引、くり返し掃引付
- 磁 石 4,500 gauss, NKS-5, 5kg
- 電 源 寸 法 25×47×25(cm)
- 電 源 重 量 15kg
- 消 費 電 力 100V, 70W

☆現金正価☆ 1,570,000円

カ ー プ マ ス タ

オートメーション装置の普及でさまざまなデータが記録計で記録されている。また、電子計算機を使ってデー